

【入会案内】

会員の種類には以下の二種類があり、それぞれ以下の様に会費を定めております。

お一人様(団体)何口でも構いません。入会金はありません。

入会頂ける方は、事務局、あるいはホームページより入会申込書を取得いただき、ご記入の上、郵送もしくはFaxにて連絡先へお届け下さい。ご不明の点は、事務局までお問い合わせください。

個人正会員 : 年会費(4月~3月) 1口 10,000円 1口以上
団体正会員 : 年会費(4月~3月) 1口 50,000円 1口以上

【所在地&アクセス】

広島県情報プラザ 5F

○広電電車の場合○

「JR広島駅」電停、「紙屋町東」電停、「紙屋町西」電停から

「広島港(宇品)」行き(1号線又は3号線)に乗車、「広電本社前」で下車 西へ徒歩7分

○バスの場合○

「JR広島駅」バス停(Aホーム5番乗場)、紙屋町バス停から

「広島港棧橋」行き(広島バス21-2号線)に乗車、「広島県情報プラザ前」で下車 すぐ



Ver. 2.3 T.O.



〒730-0052

広島市中区千田町三丁目7番47号(広島県情報プラザ内)

電話・Fax: 082-258-2828 eメール: junkan@tulip.ocn.ne.jp

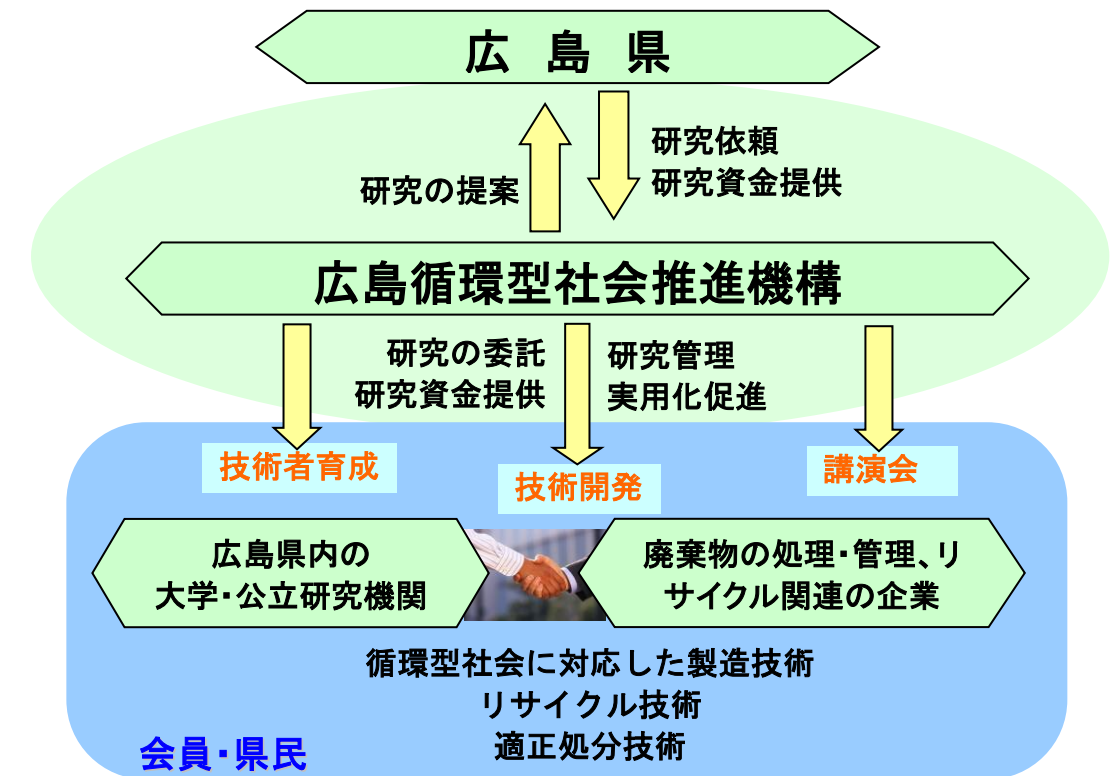
ホームページ: <http://jyunkan.starfree.jp/>

特定非営利活動法人

広島循環型社会推進機構



NPO 法人広島循環型社会推進機構は
広島県の循環型社会の形成の為に必要な
研究などの活動をしています



<http://jyunkan.starfree.jp/>

【理事長あいさつ】

「循環型社会」は我々の生活レベルを永続的に維持できる社会ともいえ、循環型社会を形成するためには資源の有効利用が必要です。その有効利用の一つが、一度不要になったもの(ごみ、廃棄物)を再生利用するリサイクルですが、そのリサイクルのためには技術開発、またその技術開発のために必要な人材育成や啓発活動が重要です。

幸いにも広島には多くの大学や公設研究機関があり、また産業廃棄物埋立税を源とする財源もあり、技術開発や人材育成を行うためのポテンシャルはありました。しかし、研究のための資金援助システムや関連企業を対象とする人材育成のためのプログラムは、これまで必ずしも充実しているとはいえませんでした。

この広島循環型社会推進機構はそれらの点を補助、補完するために生まれました。役員をはじめ関係者が必死に技術開発や人材育成のためのシステム・プログラムを開発・運営しています。

皆様のご理解とお力添えを是非よろしくお願いいたします。

【役員、顧問・名誉会員】(役職、敬称略)

		*2023年6月現在	
西嶋 渉(広島大学)	<理事長>	政藤 信夫((一社)広島県資源循環協会)	<理事>
三谷 哲也(三谷建設㈱)	<副理事長>	浅岡 聡(広島大学)	<理事>
西村 和之(県立広島大学)	<副理事長>	白石 浩平(近畿大学)	<理事>
伊藤 俊(NPO事務局)	<専務理事兼事務局長>	下ヶ橋 雅樹(叡啓大学)	<理事>
中井 智司(広島大学)	<理事>	日山 健一(㈱こっこー)	<理事>
長瀬 充良(みつぎ産業㈱)	<理事>	吉野 智之(県立広島大学)	<理事>
崎田 省吾(広島工業大学)	<理事>	有吉 邦江(山陽女子短期大学, (一財)広島県環境保健協会)	<理事>
小倉亜紗美(呉工業高等専門学校)	<理事>	田村 善光(古田・田村特許事務所)	<監事>
中村 格芳(福山大学)	<理事>	小川 勲(㈱オガワエコノス)	<顧問>
三浦 浩之(広島修道大学)	<理事>	今岡 務(元広島工業大学)	<顧問>
中川 明雄(㈱山陽レック)	<理事>	榎岡 達真(㈱こっこー)	<顧問>
廣田 成巳(㈱マエダ)	<理事>	塚脇 洋二(元 NPO 事務局)	<顧問>
金島 聖貴(丸伸企業㈱)	<理事>	岡田 光正(放送大学)	<名誉会員>
山田 寛(フボテック㈱)	<理事>	川本 義勝(㈱カンサイ)	<名誉会員>
沖野 靖将(丸栄㈱)	<理事>	大濱 正歴(㈱センタークリーナー)	<名誉会員>
山田 明(広島工業大学)	<理事>		

【目的】

本法人は、広島県内の廃棄物関連研究開発機関、産業廃棄物処理業界等の関連企業、ならびに廃棄物の排出事業者が参加した共同研究を通じて、循環型社会への転換に向けた基盤研究や技術開発を推進し、循環型社会に対応した製造技術、リサイクル技術、ならびに適正処分技術を産業廃棄物処理業界をはじめとする産業界に広く普及させ、もって循環型社会の形成に寄与することを目的とします。(表紙イメージ図、参照)

【事業実施の方針】

この法人では次のような技術研究開発事業を行っています。

- 1) 産業廃棄物処理業者のリサイクル分野への転換を促進する技術研究開発事業
- 2) 廃棄物の適正処分ならびに処分地の維持管理再生に関する技術研究開発事業
- 3) 循環型社会に対応した製造技術にする技術研究開発事業
- 4) 開発技術や他県技術の紹介、指導等を通じたりサイクル技術の導入・普及を促進する技術研究開発事業
- 5) 循環型社会に対応する循環型ビジネスモデルの構築に関する技術研究開発事業
- 6) 普及啓発活動や技術指導、技術者教育等、循環型社会の形成とその促進に資する関連事業

【事業内容】

1) 循環型社会形成推進技術研究開発事業

広島県内大学等の技術力ならびに研究成果と産業廃棄物処理業界等の関連企業が熟知する現場の実態を結集し、産学両者の連携・共同による循環型社会への転換に向けた基盤研究を推進する事業です。取り組む課題についてはリサイクル事業に取り組んでおられる産業界や大学等から広く募集しています。

2) 事業者・技術者向けの教育事業

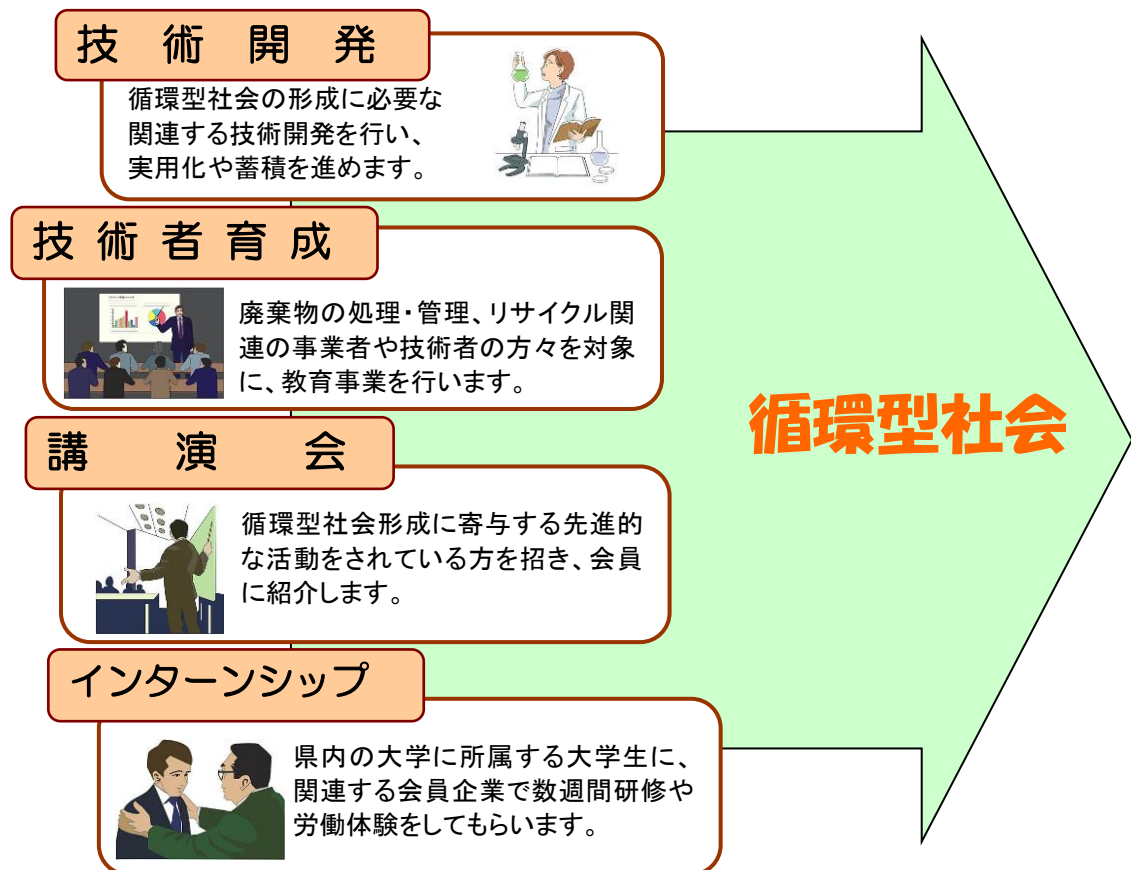
廃棄物の処理・管理、リサイクル事業等に取り組んでおられる事業者や現場で活躍する技術者の方々を対象に教育事業を行います。ここでは、廃棄物処理・管理、リサイクル事業等に必要な基礎学問から応用技術に至るまでを体系的に学ぶことができるように、数回の講義を1セットとする教育コースを設け、広島県内大学等の講師による講義形式の教育プログラムとしています。

3) 全国の有識者による講演会事業

循環型社会形成に寄与する先進的な研究や事業・活動を行っておられる大学や国の研究機関に所属する研究者、事業者等を全国から講師として招き、講演会を開催しています。

4) インターンシップ事業

夏休みなどを利用して、県内の大学に所属する大学生を関連する会員企業へ体験入社してもらいインターンシップ事業を行っています。



循環型社会とは

循環型社会とは、製品等が廃棄物等になることが抑制され、適正に循環的利用が促進され、廃棄物の適正な処分が確保されことにより、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減される社会。